

令和7年度 第1回中区地域福祉保健計画 中なかいいいネ！推進会議 議事録	
日 時	令和7年6月30日（月）14時00分～15時30分
開催場所	横浜市開港記念会館 1号室
出席者	川上委員長、杉野委員、井上委員、藤平委員、梅田委員、松澤委員、石井委員、小島委員、山本委員、上保委員、守屋委員、鈴木（聖）委員、瀧委員、深澤委員、長尾委員、櫻井委員、齊藤委員、藤井委員、鈴木（知）委員、樋渡氏（長谷川委員代理）、青沼委員、板垣委員、辺見委員、森田委員
オブザーバー	中区地域子育て支援拠点のんびりんこ 石川施設長
欠席者	芦原委員、織茂委員、秋山委員、岩橋委員、亀井委員、梁田委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議題	<p>1 第5期計画策定に向けた経過について【報告】</p> <p>2 第5期計画（区計画・地区別計画）について【説明】</p> <p>3 第5期計画（地区別計画）策定に向けた各地区の取組等について【情報交換】</p>
議事	<p>1 第5期計画策定に向けた経過について【報告】</p> <p>事務局からこれまでの取組・検討内容、策定スケジュール、推進会議の役割、第5期計画の骨子（確定版）の内容について報告。</p> <p>2 第5期計画（区計画・地区別計画）について【説明】</p> <p>区計画及び地区別計画のイメージ案を提示し、各団体へ原稿作成を依頼。</p> <p>3 第5期計画（地区別計画）策定に向けた各地区の取組等について【情報交換】</p> <p>委員・オブザーバー計6名が、第5期計画（地区別）策定状況や日ごろの取組について報告。</p>
《委員からの報告・情報共有（概要）》	
<p>石井委員（第3地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4期計画の構成（3つの柱） ・第4期振り返りの状況、取組内容 ・第5期計画策定にあたっての考え方、推進体制（「企画推進委員会」「広報委員会」を新たに立ち上げ） ・計画策定にとどまらず、推進体制を整えることで、取組が地域に浸透し、住民同士のつながりがより深まることを目指していく。 <p>守屋委員（第6地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで町づくりプロジェクト」が立ち上がっている。 ・第4期の取組（「元気づくり推進協議会」が小学生とゴミゼロサミットを開催。） ・第5期計画策定に向けた取組（全戸アンケートを実施、回収済） ・人口が多く、昔からのつながりを大切にする地域。第4期の活動成果を活かしながら、より充実した地域づくりを目指していく。 	

	<p>上保委員（本牧・根岸地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の特徴と現状（障害者関連施設が多い、地域に根ざした活動が行われているが、「中なかいいネ！」は十分に町内会長に浸透していない）。 ・各町会を巻き込んだ計画にするため、町会ごとの4期振り返りを実施、テーマ別（障害・高齢・子ども）の懇談会を開催している。 ・「障害者」テーマの懇談会では、関連団体から、顔の見える関係や情報共有の重要性が指摘された。今後も継続してこのような場を設けたいという意見が出た。 <p>藤井委員（公益財団法人横浜市国際交流協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なか国際交流ラウンジを運営。主に「多言語相談窓口」「日本語研修」を実施。 ・中区の現状（在住外国人 18,773 名、区全体の 12.1%。100 超の国と地域）。 ・地域連携コーディネーターとしての役割が非常に重要になっている。 ・活動事例の紹介（自治会イベントの翻訳、中華街クリーンボランティア等） ・「支援する・される」という関係ではなく「一緒に活動する」、時にはキーパーソンとして共に担い手となることが重要。 <p>樋渡氏（中区主任児童委員連絡会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近は「子育て」—「孤育て」と言われる。地域とどうつながるかが問われる時代。 ・小中学校との連携は、働き方改革の影響もあり、学校・保護者とも手が回らない。もどかしさは感じるが、防災まつり等の行事の意義は広く伝えていきたい。 ・児童委員は専門職ではないが、声を受け止め、必要な支援につなげる役割が重要。 ・関内地区では子どもの数が増加。区域外との連携も課題解決に不可欠。 ・中区内でも地域性はさまざま。地域を超えた対話ができる環境の整備が必要。 <p>石川施設長（中区地域子育て支援拠点のんびりんこ）※オブザーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚から出産、子育てを安心して行える環境を目指している。 ・中区は広く、支援拠点へのアクセスが困難な地域もある。 ・核家族化、住居形態もタワーマンションなどで分断され、物理的な交流の希薄化がみられる。転勤・人の入れ替わりも多く、孤立しやすい環境が生まれる傾向にある。 ・地域の支えも重要。誰かの手を借りたいとき、身近に応援者が存在することが大切。 <p>《グループワーク》</p> <p>5つのグループに分かれ、取組についての情報交換・意見交換を行った。</p>
資料 特記事項	資料 <ul style="list-style-type: none"> (1) 次第 (2) 中なかいいネ！推進会議委員名簿 (3) 第5期計画策定に向けた経過について (4) 第5期中区地域福祉保健課計画（令和8～12年度）「中なかいいネ！」骨子 (5) 中なかいいネ！推進会議規約 (6) 第5期計画 区計画構成イメージ（案） (7) 第5期「中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！」原稿の作成について (8) 第5期計画 地区別計画レイアウト（案） <p>特記事項：次回は令和8年3月に開催予定。開催日時等は後日連絡。</p>